

活躍する同窓生

今回は名古屋学院大学の広報誌「コスモママ」で取り上げられた同窓生の記事を抜粋致しました。

“自分の手で立ち上げ、

盛り上げていこう”と決意

田川飛鳥さん（1992年 経済学部 経済学科卒）



新会社「グリーンシティケーブルテレビ」に就職した田川飛鳥さんに、在学生の元芹理奈さんがインタビューしました。

——この仕事に就きたいきざつは

大学時代、大学祭実行委員会という団体に所属していたことが、そもそものきっかけです。大学祭でのステージなど一つのものを多くの仲間たちと一緒にやって創り上げた時の喜びや感動を何度も味わうことになって、「将来は、このような何かを創り上げる仕事になりたい」と思うようになりました。

上げていこう”と決意し、この仕事に就いたわけです。

——大変なことは

「応」マスコミ業界」ということもあって、華やかな世界に見られがちですが、実際のところは「肉休労働」です。この世界に男性・女性の区別はないですからね。米俵一つ、重さ10kgにもなるカメラや三脚などを担いで、あちこち取材に飛び回っています。例えばマラソン大会の取材などは、カメラを担いで選手と一緒スタートして、走る選手より先にゴールで待っていないと行かないので、けっこう体にこたえますね。

——活躍ぶりは

カメラを担いであちこち取材に飛び回り、その取材テープをもとにスタジオでTV収録。その後で編集と、通りのことをすべて一人でやっています。



たがわ あすか

●プロフィール

グリーンシティケーブルテレビ株式会社勤務。1年間営業部に在籍し、放送部へ、自主制作チャンネルである「そらまめ23」でキャスター・カメラ・編集を担当する。郵政大臣認定第2級有線テレビジョン放送技術者。

取材先で視聴者の方々から声を掛けられると、「本当にやってみてよかった」と思いますね。毎日がとても充実した日々です。

——大学時代をふり返って

大学（イコール）大学祭ですね。大学祭で個性あふれる多くの仲間と知り合い、楽しい時間を過ごすことができました。また、大学祭でのステージなど、一つのものをみんなで、一緒にやって創り上げた時の喜びや感動を何度も味わうことにより、私の生活の中で、なくてはならないものになりました。今は、忙しくて、あまり会えませんが、時間をみつけては仲間と会ったりして遊んでいます。私の心の支えになっている大切な仲間たちです。

——これからの夢は

開局して5年がたち、今では街でみなさんに「いつも見てるよ」と声をかけられることも多くなりました。だからこれからはもっと視聴者のみなさんに喜んでもらえるようないい番組を創ってみたいです。

今、大がかりなドキュメンタリー番組を制作しているんですが、「大会優勝めざしてがんばっている地元消防団」の様子を約1年にわたって追跡取材していきます。その間、6月に2

度のペースで短い番組として放送しているんですが、最終的にそれらをすべて編集して、本の番組にし、年に何度か開催される番組制作コンテストにチャレンジしたいと思っています。そういった大きな場で自分の番組が認められること、それが今の、私の夢ですね。

（1998年 51号より抜粋）



その後、田川さんは番組を完成させ、コンテストに応募、見事に奨励賞を受賞されました！！

キャンパスメイン ストリーートの櫻（はやき）



本年3月、父母会の卒業記念事業ならびに同窓会の設立30周年記念事業として、大学への寄付という形でキャンパスのメインストリートに花壇が新設されました。

学校正門から麦粒苑に続くメインストリートに馬蹄型花壇を10基設置。外縁部に木製ベンチも設け、学生の憩いの場にしようとするものです。花壇の中心には8mの櫻（はやき）を植栽し、まわりには草花を配しました。今後、緑陰のもとキャンパスでの楽しい語らいの場となるものと思います。